



かごしま発の技術革新を目指して

商工観光労働部長 岡積 常治

私たちは、今、21世紀という新しい時代を迎えております。

このような時代の節目に当たり、本県を取り巻く社会経済情勢は、経済のグローバル化やIT革命と呼ばれる情報通信技術の革新、少子・高齢化の進行、地球規模での環境問題の顕在化など、大きな転換期を迎えております。

このような状況の中、県では、「創造性に満ちた多様で活力ある工業、商業・サービス業の振興」を図るため、「未来を拓く新事業の創出」や「競争に強い地域産業づくり」、「企業立地の推進」、「地域の活力を支える産業の振興」、「地域技術等の活用による新たな展開」を基本方向として、各般の施策を進めることとしております。

これらの施策推進にあたって工業技術センターにおいては、新技術・新製品の開発に取り組んでおられる中小企業者等を支援するため、技術開発や地元企業との共同研究、技術支援、各種の相談に積極的に対応しております。

また、新規創業や経営革新などを目指す中小企業等の相談・支援の拠りどころである（財）かごしま産業支援センターにおいては、大学等の技術シーズとのマッチングや共同研究の仲介、事業化（製品化）のための研究会の開催、県内大学等の研究者情報の提供、研究開発助成などを行っております。

本年度は、工業技術センターにおいては、「シラスコンクリートの実用化に関する調査研究」や「本格焼酎の安定製造に関する研究」、「連続式発泡スチロール水平リサイクル技術の研究」などの研究に新たにに取り組んでおります。また、（財）かごしま産業支援センターにおいては、創造性・新規性等を有する技術やアイデアを基に、県内において起業化する意欲のあるチャレンジャーを全国から募集し、その企業化を応援する「か

ごしま起業家応援プログラム」を新たにスタートさせました。

御承知のとおり、数多くの革新的な技術の発明により産業革命が起こり、社会経済の活動に大きな変革がもたらされたように、画期的な技術が新たな商品・産業、雇用を生み出し、社会経済活動を活性化させます。

県内にも、時代に対する先見性を持ち、新たな技術を開発し、商品化しておられる“元気のある企業”があります。例えば、独自の特許をベースに農水産業分野からハイテク分野にわたり、新製品を次々に提案・開発しておられる企業や、長年培ってきた技術を精密電子部品の製造に応用し、最先端の分野で高水準の技術を有しておられる企業などです。そして、これらの企業に共通することは、創造的な事業活動を行っておられる研究開発志向の企業であり、また、大半が、国・県等の研究開発助成や試験研究機関等の支援策等を活用しておられる企業であります。

今日の我が国は、厳しい雇用情勢をはじめ、不良債権問題、国・地方ともに厳しい財政状況など、多くの課題に直面しております。また、これまでの国の経済対策により、景気は一部において底入れに向けた動きが見られるものの、個人消費は横ばいで、設備投資が減少し、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況を踏まえ、企業の皆様におかれましては、国や県の施策・制度を積極的に活用され、大学や工業技術センターなど外部研究機関の研究シーズをもとにした新たな技術開発や新分野への進出など、「かごしま発の技術革新（イノベーション）」に取り組んでいただき、本県地域経済の発展を支えていただきたいと思います。